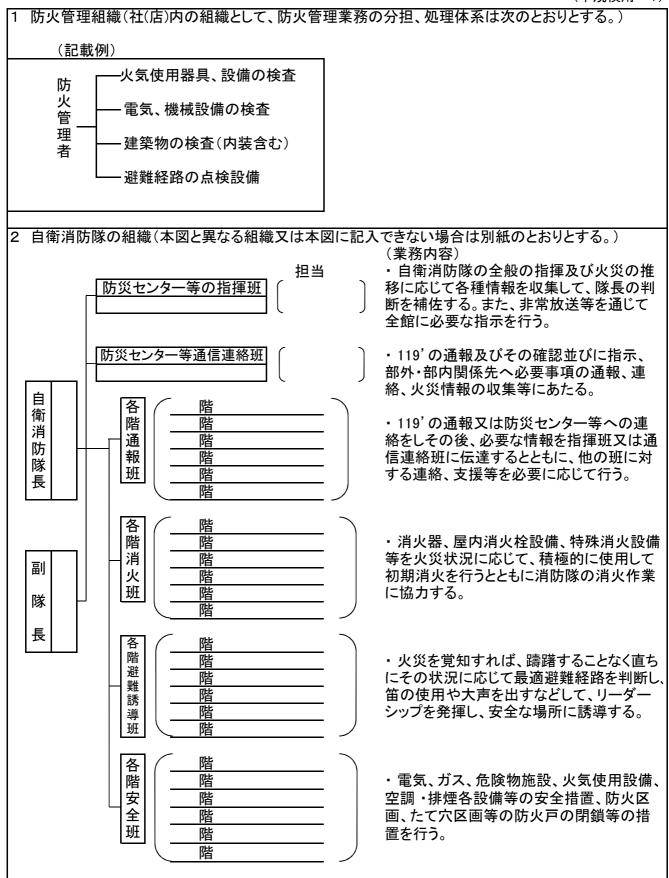
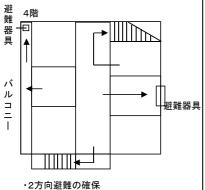
(中規模用-1)



	① 消 火 器		③ 自動火災報知設備		⑤ 屋内消火栓設備		7	特殊消	肖火設伽	購又は				
	各階設置数 担 当		•受信	機設置場	所	各階設置数 担 当		特殊消防用設備等						
	階	本			階の		階	個			設值	備名		
	階	本		担当	昼間()	階	個						
3	階	本		<u> </u>	夜間()	階	個						
消	階	本		<u> </u>			階	個						
n+-	階	本		・副受	人信機設置	場所	階	個			設記	置場所		
防	階	本		<u> </u>	階の		階	個						
設	階	本					階	個						
備	階	本		担当	昼間()	階	個						
	②避難:	器具	担当	<u> </u>	夜間(警備	請会社)	⑥ 自	動火	災報知	口設備	担	当()
担 	階	個					又は	放送	設備の	操作・	(3 連約	吉送水管	警等
当	階	個		④ 放	女送設備		監視	業務	の外音	『委託		送水口	l設置場	計
	階	個		設置	場所		委託分	ŧ				()
	階	個		<u> </u>	階の		電	話				消防隊	誘導担	当
	階	個		担当	昼間()		_	_			()
	階	個			夜間()	00	00	<u> </u>	<u> </u>	0	を	実施	
	・出火	場所	—119°				・出火	場所	→指揮	鄆班				
	① 火災発見者は社(店)内電話を利用し					① 火災が発生したことを連絡する。				0				
	て直接119'通報する。				② 初	期消	火可能	能(不i	可能)であ	ること	0000		
	② 火災発見者は社(店)内電話で指揮班				旨揮班	を連	絡す	る。					\circ	
	(保安室、事務室等)に連絡する。			③ 応	援が	必要(不要)	です	あること	を連) (
	③ 自動火災報知設備受信機により火災			絡する。				0						
	覚知 した場合、又は火災発見者等から			④ 避難開始が必要(不要)であること										
4	連絡をうけた場合、保安委員等は119'通								な					
通					認し、状況	により	0							を 実 施
,)及び非常	—	_ , _ ,									施
報	4 通	報内	容を定め	ておく	• •		_							
連	0						▶指揮	.班→	消防隊					
ti ka							① 出火場所の説明及び誘導する。) C		
絡					② 延焼状況の概要報告をする。)(
					③ 在館者の避難状況、要避難者の有)(
				無を報告する。)(
				④ 建物状況を報告する。				000000						
				⑤ 危険物、電気、ガス施設の状況を				況を						
				報告する。					を 実 施					
							0							施
	\bigcirc C	<u> </u>	<u> </u>	を実	施									

を実施

•初期消火活動 ・特殊消火設備による消火活 ・消防隊支援活動および安全防護措置 ① 火を見てもあわてずに落ち着 ① 消防隊が現場到着した場合には、 いて行動する。 ① 小規模火災のうちは消火 火災、延焼状況を通報する。 ② 水道ホースなどを使用する。 ② 放水作業等の交替を円滑に行う。 器を使用する。 ③ 消火器を使用する。 ② 的確な判断により早期に ③ 交替時は消防隊の要請により消防 使用は天井着火までとし、 特殊消火設備の使用を決 隊の消火作業を支援する。 いつまでも消火器に執着し 心する。 ④ 安全班は電気、ガス施設、空調、 5 ③ 使用時は付近に注意を 排煙各設備などの安全措置を行う。 ない。 消 ④ 消火器使用と同時に屋内消 喚起する。 ⑤ 消防車両進入障害物を除去し、消 火 火栓設備の放水態勢をとり早 ④ 指揮班に必要事項を連 防車両を誘導する。 期に使用する。 絡する。 ⑥ 消防隊員を火災現場に誘導する。 活 操作順序は、消火栓箱に貼 ⑤ 使用後は早目に避難す 0 動 布された操作方法による。 る。 ⑤ ホースのねじれ、折り曲げに O 注意する。 ⑥ 周囲の状況に注意し退路を 考え、深追いしないこととする。 \circ 0000000 を実施 避難計画概要 6 各階の避難計画は、次のとおりとする。 4階 器 **→**|||||||| 具



管理権原が分かれている防火対象物における管理権原の範囲は、次のとおりとする。

① 防火管理を統一的に実施するため、各事業所の管理権原者が協議事項を定め防火管理者を共同 により選任する。 ② 協議事項は、別添(共同で選任する場合の協議事項)のとおりとする。 0

選任する場合9防火管理

大同により:

○○○を実施

・ 避難の開始 ・ 避難の方法 指揮班の避難誘導及び指揮 ① 各階の避難誘導班の責任者 ① 火災の全体状況の把握に ① 非常ベルが鳴ったら避 努める。 難に備え避難準備態勢を は、当該場所における最適避 9 ② 時機を失せず非常放送等 難方法を決定する。 とる。 ② 大声で皆に知らせる。 ② 避難順序は、 により火災状況を説明すると 澼 ア 横方向への避難 ③ 責任者はリーダーシップ ともに、避難方法を指示する。 難 を発揮して的確に避難行 (避難橋、連絡通路等の利 ③ パニック現象を考え、放送 内容等については平素から 動を指示する。 及 (4) なるべく制服を着ている イ 下方向への避難 十分に留意しておく。 び 4) 消防隊との密接な連絡を 者や腕章を着用している者 (屋外階段、屋内階段等の 利用) が、リーダーシップをとる。 保つこととする。 澼 ⑤ 必要に応じて、タオル・マ ウ 上階方向への避難 ⑤ 安全班に空調停止、排煙 (屋上、屋上避難広場の利 措置、防火戸の閉鎖確認等 難 スク等を使用する。 ⑥ いたずらに騒ぎたて、無 用)とする。 の指示をする。 ⑥ 要救助者の有無の確認を 秩序な行動をとらせない。 ③ 避難器具は最終的な方法と する。 ⑦ 地震発生のときは、必ず する。 道 係員が必要な指示を行う。 ④ 避難場所は予め定められた ⑦ 避難の細部計画は社(店) 内防火規則に定める。 場所とする。 0 0 OOOOOOoe実施 00000 ○○○○○○○○○

○○○○○○○○

○○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○○

○○○○

○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○

○○

○○○

○○

○○

○○

○○

○○

○○

○○

○○<b を実施 ・避難訓練の内容は震災対策を含め次 |・通報訓練の内容は次のとお |・消火訓練の内容は次 のとおりとする。 りとする。 のとおりとする。 ① 非常ベル鳴動時の避難準備態勢 ① 自動火災報知設備受信 ① 消火器訓練 壀 訓練 機による火災覚知訓練 ② 水道ホースなどによ 難 ② 放送設備による館内放 ② 館内放送による避難誘導訓練 る訓練 ③ 各々の場所における最適避難誘導 送訓練 ③ 屋内消火栓設備に 通 報 訓練 ③ 社(店)内電話により、保 よる操作・放水訓練 ④ 責任者、指導班の指示・命令訓練 安室等へ通報する訓練 ④ 特殊消火設備の模 消 ⑤ 安全班における防火戸等閉鎖訓練 ④ 社(店)内電話により、119' 擬操作訓練 火 し必要な情報を伝える119' ⑥ 各職場ごとに訓練に応じた目標を 訓 ⑤ 火気使用設備の使 練 設定して行い、各人がその任務につ 通報訓練 用停止訓練 計 いて熟練するよう努める。 ⑤ 出火場所及び各班から \circ ⑦ 避難器具操作・取り扱い訓練 指揮班へ連絡する訓練 固定式以外のものは危険を ⑥ 指揮班から各班及び消 防隊へ情報伝達する訓練 伴うことがあるので十分な注 、 意を払う。 0 \circ 〇〇〇〇〇〇〇を実施 〇〇〇〇〇〇〇を実施 〇〇〇〇〇を実施 ① 消火訓練及び避難訓練を(年1回、年2回)以上実施し、そのうち避 実施時期 難・通報・消火の総合訓練を年1回以上実施する。 月 訓 ② 訓練実施時はあらかじめ、[別紙]消防訓練実施計画(結果記録)書 月 練 により消防機関へ通報する。また、実施後、その結果を記録する。 実 ③ 訓練実施内容はできるだけ写真等で記録し、(結果記録)を次回の 月 施 訓練等の参考とする。 月 計 画 ④ 震災対策としての防災訓練を実施する。なお、細部については、社 (店)内防火規則で定める。 〇〇〇〇〇を実施

12 避難通路等の確保	 ・法令の定めるところにより、避難通路等の確保については次のとおり行う。 ① 階段、廊下、通路等の避難経路には物品を置かない。 ② 屋外階段、避難階での非常口では鍵をかけない。 ③ 屋外階段、避難階での非常口の鍵は、非常錠とする。 ④ 防火戸は正常に作動するよう日頃から維持管理し、防火戸の機能障害を排除する。 ⑤ 避難の経路となる部分及び消火器、自動火災報知設備受信機、放送設備操作部、屋内消火栓設備等の周囲は常に整理・整とんし、使用を妨げる物品等を置かず、避難及び消火活動の支障にならないようにする。 ⑥ 以上のほか避難通路等の確保について必要な事項は、社(店)内防火規則に定める。 ○ 						
13 防火管理	① 防火管理者の代行者を定める。 ② 防火管理代行者による自衛消防組織は、 担当 次のとおりとする。	000					
防火管理体制 者不在時	自衛消防隊長 (防火管理代行者) ()名 消 火 ()名を含む。 避難誘導	を実施					
14	・夜間、休日で建物内が全く無人となる場合の対策は次のとおりとする。 ① 自動火災報知設備の受信機から移報をと 警備会社名()	0					
無人	り、右の警備会社へ機械警備を委託する。 責任者名(電話)	00					
時の	② 機械警備を委託せず、付近の勤務者等か ら連絡する体制をとる。 連絡 先 「氏名)	を					
対 策		実施					
15 工事中の防火管理	① 増改築、大規模な修繕、模様替等の工事をする場合、事前に消防機関に相談する② 使用部分と工事施工部分(元請負人)との間で協議し、共同して防火管理計画を定。③ 上記工事中における防火管理計画の内容は、次の事項とする。 ア 工事部分の自衛消防組織に関すること。 ウ 工事部分における溶接器・バーナー等の火気使用設備器具、引火性物品、危険物関性、その他の火気管理に関すること。 エ 工事作業員の監督及び防災教育に関すること。 オ 使用部分と工事部分との緊急時の連絡方法に関すること。カ 使用部分と工事部分との区画方法に関すること。 ク その他必要な事項 ④ 以上のほか工事中の防火管理について、必要な事項は社(店)内防火規則に定め 〇	。 める。 勿品、					
	○○○○○ を実施						

16	① ガス漏れ事故対策は、防火管理者の指示② 平素から、ガス器具、ホース、各コックの老		点検整備をし、	. 不適当使用に	は厳に
ガス漏れ事故対策	禁止する。 ③ ガス機器使用後は必ず閉栓することを義系 ④ ガス漏れ時は付近のガスコックを閉鎖し、ガス漏れ状況(爆発)状況を詳細に通報する ⑤ 通報内容は「〇〇〇でガス漏れがしています。ガス漏れ(爆発)部分は〇階〇〇〇です ⑥ 館内への避難通報は混乱を引き起こさせる等に応じて最小限の応急措置要員を残し前 ⑦ 緊急時には、二次災害に十分考慮を払いる。	火気厳禁とする う。 です。(ガス爆発 。ガス漏れ範囲 ぬよう十分考慮 記9に準じ避難	さともに次に。 がありました。 囲は〇〇〇〇 するとともに、 生誘導を行う。	より遅滞なく11 ,)所在は〇〇 〇です。」等と ガス漏れの規	9'等に 〇〇で する。 見模範囲
	⑧ 館内通報の内容はおおむね次のこととするア ガス漏れ事故発生場所とその概要イ 火気使用禁止の指示とその範囲ウ 避難誘導及びその指示等⑨ 消防隊及びガス供給事業者の到着時、実に必要な指示を受け協力する。⑩ 以上のほか、ガス漏れ事故対策について返り	施措置内容、哥			
47	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		名 委	託 業 者 名	
17 特殊消防用設備等の点検計画 7 消防用設備等又は	機器点検、1年ごとに総合点検)を行い、その点検結果を維持台帳に記録し、年に1回、消防機関に報告する。 ② 特殊消防用設備等の点検は、設備等設置維持計画に定める期間ごとに行い、その点検結果を維持台帳に記録し、設備等設置維持計画に定める点検の結果についての報告の期間ごとに消防機関に報告する。 ③ 上記①又は②の自主点検を行い設備の維持管理をし、日常の自主点検の内容、方法等は社(店)内防火規則に定める。 ④ 上記の法定点検は(自社、委託)で行い、委託の場合の委託先は右のとおりである。 ○	DE THE	非該		
18 防 火対	① 防火対象物点検結果報告の点検票に基づ 消防機関に報告する。 ② 上記の法定点検は、委託で行い、委託の場		その結果を1年	に1回、定期に	0000
烈 象 物	委託先 ③ 当社職員の点検資格者が行う。				0
初点検報告	0				を実施

19 危険物施設	① 許可施設にあっては、危険物取扱者は法令の定めるところにより危険物施設の点検、整備等を実施し、平素から防火管理者と協力して火災予防に努める。 〇	〇〇を実施
20 火気管理	① 各部署ごとに火元責任者を定め法令の定めるところにより、炉・かまど・厨房・ボイラー・ストーブ・こんろ・裸火・喫煙等の火気管理を行わせ、その業務の実施について必要な事項は社(店)内防火規則に定める。 O	〇〇を実施
21 震災対策措置	 ① 建物内の陳列物等の点検を行い、落下、転倒防止対策を行う。 ② 火気使用設備、器具の落下、転倒防止対策を行い、耐震装置の性能確認を行う。 ③ 危険物施設及び物品の点検検査を行い、流出、落下、転倒防止対策を行う。 ④ 地震に備え救急医療品、ラジオ、懐中電灯等を備え保管する。 ⑤ 自衛消防隊長は、直ちに隊を編成し、各部署に対し、必要な指示、命令を行う。 ⑥ 各部署の責任者は、地震後ただちに電気設備、危険物施設、火気使用設備について、点検、検査を行い、安全を確認する。 ⑦ 自衛消防隊長は、建物内外の被害状況を適格に把握し、今後の必要事項を指示する。 ⑧ 地震時の活動は、前記4、5、6、9に準じて行う。 ⑨ 細部事項については社(店)内防火規則で定める。 ○ 	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 を実施
22 防災教育	① 震災対策を含む消防計画の内容、社(店)内防火規則の内容及び各勤務者の任務等を新入社員、勤務者(自衛消防隊員)及び各担当者に教育指導し、その徹底を図る。 ② 上記の他防災教育について必要な事項は、社(店)内防火規則に定める。 〇	〇〇〇を実施
23 維持台帳	① 維持台帳に「防火管理者選任(解任)届出書」、「消防計画」、「社(店)内防火規則」、「消防用設備等・特殊消防用設備等検査済証」、「使用開始届出書控」、「危険物施設一覧表」、「条例による届出施設一覧表」、「防火管理記録」及び「査察結果通知書」などその他の必要な図書を編冊し保存するとともに、必要な記録を行う。 ② 消防法令により必要とされる「消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書」、ボイラー、変電設備等の各種届出を消防機関に届け出、副本を保存する。	〇〇〇を実施
24	① 本消防計画を実施するため必要な細部事項は、社(店)内防火規則に定め、その周知徹底を図ることにより、火災予防並びに従業員等の安全確保に努める。	〇〇を実施
25	その他必要事項 この計画は、 年 月 日から適用する。	

	方 式	□ 常 駐 □ 巡 回 □ 遠 隔 移 報							
	管理権原者氏名								
26	受託者の氏名(名称)	氏名(名称)							
	及び住所(所在地)	住 所 (所在地)							
	(+11-+-71+)	中ル市改訂							
防	法人にあっては、	│ 担当事務所 │ 名 称							
火	名称及び主たる 事務所の所在地	石 M							
管	○ 事物用の用在心								
理									
業									
		① 火気使用箇所の点検等監視業務 常駐							
務		② 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 常駐							
の		③ 火災が発生した場合の初期消火、通報連絡及び避難誘導 常駐							
委		④ 周囲の可燃物の管理 常駐 巡回							
託	新 受託者の行う防火 ⑤ 巡回による火気使用箇所の点検管理確認 巡回								
状	管理業務	⑥ 火災を発見した場合の初期消火、通報連絡 巡回 遠隔移報							
		⑦ 火災異状の遠隔監視及び現場確認業務 遠隔移報							
況		⑧ その他							
		(常駐 巡回 遠隔移報							
		0000000 を行う							
		① 勤務場所 保安室 常駐 常駐 一							
		② 常駐人員 <u>休業日 人</u> 常駐							
	受託者の行う防火								
	管理業務の方法	⑤ 巡回回数·人員 回 人 巡回							
		6 待機場所·所要時間							
		分 遠隔移報							
		000000 +63							
○○○○○○ を行う									

消防訓練実施計画(結果記録)書

年 月 日

宛

(統括·防火·防災)管理者 職·氏名

(防火管理・防災管理)に係る消防計画に基づき、消防訓練を実施します。

防火対象	名 称			事業所名:			
	所 在 地						
象物	参加(予定) 人数		消防法がに掲げる	施行令別表第1 項 3区分			
担	当者氏名	追	車絡先	電話 一	_		
	実施日時	年月	日	時 分から	時 分まで		
į	訓練根拠	□ (防火管理・防災管理)に係る消防計画 □ 全体の(防火管理・防災管理)に係る消防計画					
		実施計		☆実施状況 ☆実施結果			
		□ 総合訓練					
_	=111.6±1.4 D.I	□ 消火訓練(実・	·模)				
i	訓練種別	□ 避難訓練(火気	□ 良好 □ 改善点等あり				
		□ 通報訓練(実・	·模)		ロ 以音点寺のり		
		□ その他()				
訓練概	訓練概要						
☆改善点	点等詳細						
	※受	付欄		※経過欄			

- 備考 1 提出は2部とし、☆の欄は訓練実施後に記入してください。実施項目にチェックし、改善点等ある場合は「改善点等詳細」の覧に記入後、防火管理維持台帳等に保管してください。
 - 2 ※の欄は記入しないでください。(消防記入欄)
 - 3 全体の(防火管理・防災管理)に係る消防計画に基づく訓練の場合には、参加事業所一覧 等の資料を添付してください。
 - 4 「訓練概要」の欄には、実施場所、発災想定等の具体的な内容を記入してください。
 - 5 かっこのある欄については、該当する文字を丸で囲んでください。
 - 6 「実施日時」に変更が生じる場合には横線で訂正し、その旨を担当署にご連絡ください。